

令和5年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立漕艇センター

評価項目	評価基準 (内容)	評価委員会の指摘・提 言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への 反映内容	令和6年度の 進捗状況
I 提案の履行状 況に関する項目 (3)利用者の増加 を図るための具 体的手法・効果	②年間の広 告・広報計 画等の情 報発信の 取組み	ホームページの更新 頻度が低く、定期的なメ ンテナンスが行われて いないと見受けられる。 また、ボート教室の案内 など初心者が参加する には分かりづらい。構成 の見直しや管理体制な ど根本的な見直しが必要である。	広報担当理事による管理 体制を整え、情報の更新等定 期的なメンテナンスを着実 に行う。自主事業への参加案 内については、競技未経験者 にも教室の内容や初心者マ ニュアル等の情報の開示、府 内体育施設やスポーツジ ムへのチラシや掲示用貼紙の 配布、各種イベントメーリン グリスト管理者やコミュニ ティペーパーへの情報提供 やSNSの活用など、水上スポ ーツに関心を有する層に情 報が届くよう工夫する。な お、ホームページ構成の見直 しについては、必要に応じて	広報担当理事のもとで実務 を行う担当者を決め、定期的な 更新チェックなど作業手順を 定めるなど管理体制を再構築 する。 以下の方法により水上スポ ーツに関心を有する層に情報 を届け、自主事業のボート教室 への参加希望者を募る。 ・教室の内容や初心者マニ ュアル等の情報のホームペー ジへの掲載 ・府内体育施設やスポーツジ ム等へのチラシや掲示用貼紙 の配布 ・各種イベントメーリングリ スト管理者への情報提供	有料サーバーへ移行してホ ームページをリニューアル し、アプリケーションや動画 を掲載できる環境を実現して 更新の頻度を増加させた。こ れによりスマホ画面での視認 性が向上した。また、自主事業 としてボート教室を5月に開 催した。(参加者：4名)

			施設所管課の助言等を受ける。	・SNS を活用したボートイベントや施設情報の発信	
I 提案の履行状況に関する項目 (6) 収入確保策の実施	② 提案どおり実施されているか。	ボート教室等の自主事業について、参加者が集まりにくい状況であれば、ターゲット(外部)に対して、ボートに興味を持ってもらう仕掛けづくりなど新たな視点での取組を検討する必要がある。	地元の堺市や高石市、学校、自治会や子ども会等、その他府内スポーツ施設利用者や地域イベント情報媒体(コミュニティペーパーなど)などを通じて、ボートの魅力や施設の概要、自主事業について積極的なPRを行い、施設利用者の増加を図る。	以下の手法や媒体により、施設やボート教室、ボートイベント等の情報を広くPRする。 ・堺市や高石市、学校、自治会や子ども会等への情報提供 ・府内スポーツ施設の利用者向け情報提供 ・地域イベント情報媒体(コミュニティペーパーなど)やSNS	泉大津市へ広報誌等に漕艇センターの施設紹介を掲載していただけるよう交渉に伺った。